

河川敷地に工作物を新築・改築・除却等するとき（河川

法第 26 条)

申請書類は、2部作成して提出してください。

なお、本記載要領は、河川敷地の占用（法第 24 条）を伴う場合を想定しています。

《申請書に添付する書類・図面》

①許可申請書（別記様式第八（甲））

別添様式を用いて作成してください。河川法申請書の表紙にあたります。

申請者：占有をする主体です。

法人の場合は、代表者の名で申請をお願いします。

また、行政書士事務所など代理人が手続きされる場合も、占有者の情報を記入してください。代理人が申請手続き等を行う場合は、申請に関する事務を代理していることが記載された委任状を添付して下さい。

申請担当者：この申請を行うにあたっての、いわゆる窓口にあたる方のことを指します。申請内容について問い合わせや連絡は、申請担当者として記載されている方宛に行いますので、申請書作成担当者など、申請内容の問い合わせなどに対応できる方の氏名・住所・電話番号・メールアドレスなど連絡先を記載してください。

また代理人が申請する場合は、代理人の所属・氏名などはここに記載してください。

②様式乙の 4

別添様式に基づいて作成してください。下記は記載例となります。

1. 河川の名称 円山川水系〇〇川 ※〇〇には、円山川・奈佐川・出石川のいずれか
2. 目的 下記の記載例（表）を参考に記載ください。
3. 場所 兵庫県豊岡市〇〇町字〇〇番地先（右岸 or 左岸〇.〇k～±〇.〇m 付近）
4. 工作物の名称 下記の記載例（表）を参考に記載ください。
又は種類 ※記載量が多い場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙を作成いただいても差し支えありません。
5. 工作物の構造 下記の記載例（表）を参考に記載ください。
又は能力 ※記載してある数値は必ず図面で確認できるようにしてください。
※記載量が多い場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙を作成いただいても差し支えありません。
6. 工事の実施方法 工事の施工方法を記載してください。また、請負（請負施工）か直営（申請者が直接施工）か記載ください。

7. 工期 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで
 ※河川管理者による検査及び予備日も含めて工期を算出してください。
8. 占用面積 〇〇.〇〇㎡ ※少数第3位で四捨五入、単位は㎡
9. 占用期間 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで

項目2・4・5の記載例

2. 目的	4. 工作物の名称又は能力	5. 工作物の構造又は能力
通路	進入路	アスファルト舗装 L=〇.〇〇m W=〇.〇〇m A=〇.〇〇㎡ 転落防止柵 H=〇.〇〇m L=〇.〇〇m
標識	〇〇バス停留所	鋼製柱 φ 〇.〇〇m H=〇.〇〇m 〇本
保安	街路灯	鋼製柱 φ 〇.〇〇m H=〇.〇〇m 〇w 〇本 支線柱 φ 〇.〇〇m H=〇.〇〇m 〇本 電線 〇m×〇条

※工作物の設置箇所が河川保全区域にも及ぶ場合は、項目3・4・5は下記のように河川区域内と河川保全区域内にわけて記載してください。

3. 占用の場所 【河川区域】
 兵庫県豊岡市〇〇町字〇〇番地先から
 兵庫県豊岡市〇〇町字〇〇番地先まで
 (右岸 or 左岸〇.〇k~±〇.〇m 付近から
 右岸 or 左岸〇.〇k~±〇.〇m 付近まで)
- 【河川保全区域】
 兵庫県豊岡市〇〇町字〇〇番地先(右岸 or 左岸〇.〇k~±〇.〇m 付近)
 兵庫県豊岡市〇〇町字〇〇番地先(右岸 or 左岸〇.〇k~±〇.〇m 付近)
 ※河川保全区域内の行為箇所の地番はすべて列挙してください。
4. 工作物の名称
 又は種類 【河川区域】 〇〇
 【河川保全区域】 〇〇
 ※記載量が多い場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙を作成していただいても差し支えありません。
5. 工作物の構造
 又は能力 【河川区域】 〇〇
 【河川保全区域】 〇〇
 ※記載してある数値は必ず図面で確認できるようにしてください。
 ※記載量が多い場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙を作成していただいても差し支えありません。
8. 占用面積 〇.〇〇㎡ ※河川区域内の面積のみ
9. 占用期間 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで ※河川区域内のみ

添付書類

③事業概要書 ※様式は問いません。

事業計画の内容及び河川区域内に設置しなければならない必要性を記載してください。

④位置図

お持ちの地図を用いて、今回申請を行う占用箇所を着色や丸印で囲むなどして示してください。

⑤平面図

縮尺は概ね1/100から1/500とします。周辺の地形等（河川、堤防、道路、護岸、建物など）を図示してください。河川区域線を赤線で、河川保全区域線を黄色線で、占用する箇所を薄く着色してください。河川の流水方向を矢印で示してください。

⑥工作物の設計図（構造図）

（1）縦・横断面図

工作物と堤防、護岸等の河川管理施設との位置関係がわかるよう作成し、河川の現況断面、計画高水位等を記載してください。河川区域線を赤線、河川保全区域線を黄色線で記載してください。

（2）工作物の詳細図

設置する工作物についての構造、寸法等を記載した図面を添付してください。

⑦工事实施計画書（安全対策や出水対応を含む） ※様式は問いません。

（1）どこでどのような工作物をどのような工程でどのように設置するのか等、工事内容や工事手順を具体的に記載してください。また、施工上の安全対策や第三者へ安全対策及び大雨時の撤去計画など出水時の対応も記載して下さい。

（2）工程表を添付してください。

※許可条件に基づき、工事完了後はすみやかに「河川管理者による検査」（完了届の提出・検査）を受けていただく必要があります。工事完了後「河川管理者による検査」という項目を作成し、検査及び予備日を含めた工期でご作成ください。

⑧占用する土地の丈量図及び面積計算書

占用する面積の面積を求める資料です。三斜法により計算式を記載してください。なお、占用面積は㎡を単位とし、小数第3位を四捨五入してください。

⑨申請箇所の現況の写真

申請箇所の現況の状況がわかる写真を添付してください。

⑩土地の権原に関する図書（公図、登記簿）

（１）土地登記簿 謄本^{とうほん}など申請箇所の土地所有者を示す書類を添付してください。また、法務局備付の地図等に着色するなどして申請箇所を明示してください。

（２）申請者と土地所有者が異なる場合は、申請者がその土地で工事等をするについて正当な権原を有することを示した書面（借地契約書、承諾書など）を添付してください。

※いずれも写しで問題ありません。

⑪他の行政庁の許認可（該当がある場合）

許可書等許可を得ていることがわかる書面を添付してください。

※上記以外にも審査に必要な添付書類の提出をお願いする場合がございますので、ご了承ください。